

次期ごみ処理施設整備・運営事業

落札者決定基準書

令和4年4月5日

岐阜羽島衛生施設組合

< 目 次 >

1 . 落札者決定基準書の位置付け	1
2 . 落札者決定の手順	1
(1) 入札参加資格審査	1
(2) 事業提案審査	1
(3) 落札者の決定	2
3 . 技術提案審査の方法	3
(1) 基礎審査	3
(2) 非価格要素審査	3
(3) 価格要素審査	7
(4) 総合評価	8

1. 落札者決定基準書の位置付け

岐阜羽島衛生施設組合(以下「組合」という。)が進める「次期ごみ処理施設整備・運営事業」(以下「本事業」という。)において、実施する民間事業者は、施設の整備及び運営・維持管理に関する専門的な知識及びノウハウ等が求められる。このため、組合では、落札者の決定に当たっては、価格以外の施設性能・機能等及び価格によって落札者を決定する総合評価落札方式による一般競争入札を採用する。

落札者決定基準書は、総合評価方式により落札者の選定に際し、要求水準書等の内容について、応募者から提出された事業提案書を評価する基準として示すものである。

2. 落札者決定の手順

(1) 入札参加資格審査

組合及び岐阜羽島衛生施設組合一般廃棄物処理施設整備・運営事業者選定委員会(以下「委員会」という)では、応募者から提出された入札参加資格審査に関する提出書類を基に、入札説明書の「入札参加資格要件」に示した事項を満たしているかどうかを確認する。

入札参加資格審査の結果、入札参加資格要件を満たしていることが確認された応募者のみ、次段階の技術審査に参加できるものとし、入札参加資格要件を満たしていない応募者は失格とする。なお、入札参加資格審査の結果については、全応募者に通知する。

(2) 事業提案審査

基礎審査

組合及び委員会では、事業提案書に記載された内容が、落札者決定基準書に示す基礎審査項目を全て満たしていることを確認する。

基礎審査の結果、当該要件を全て満たしていることを確認した応募者のみ、次段階の非価格要素審査及び価格要素審査に進むことができるものとする。

非価格要素審査

委員会では、応募者から提出された事業提案書を評価して得点化する。なお、非価格要素審査に当たっては、応募者へのヒアリングを実施する。

価格要素審査

委員会では、入札価格を得点化する。

総合評価

委員会では、非価格要素審査及び価格要素審査の得点を合計して総合評価点を算出し、総合評価点の最も高い応募者を落札者に選定する。

(3) 落札者の決定

組合では、委員会における総合評価の結果に基づき、落札者を決定する。

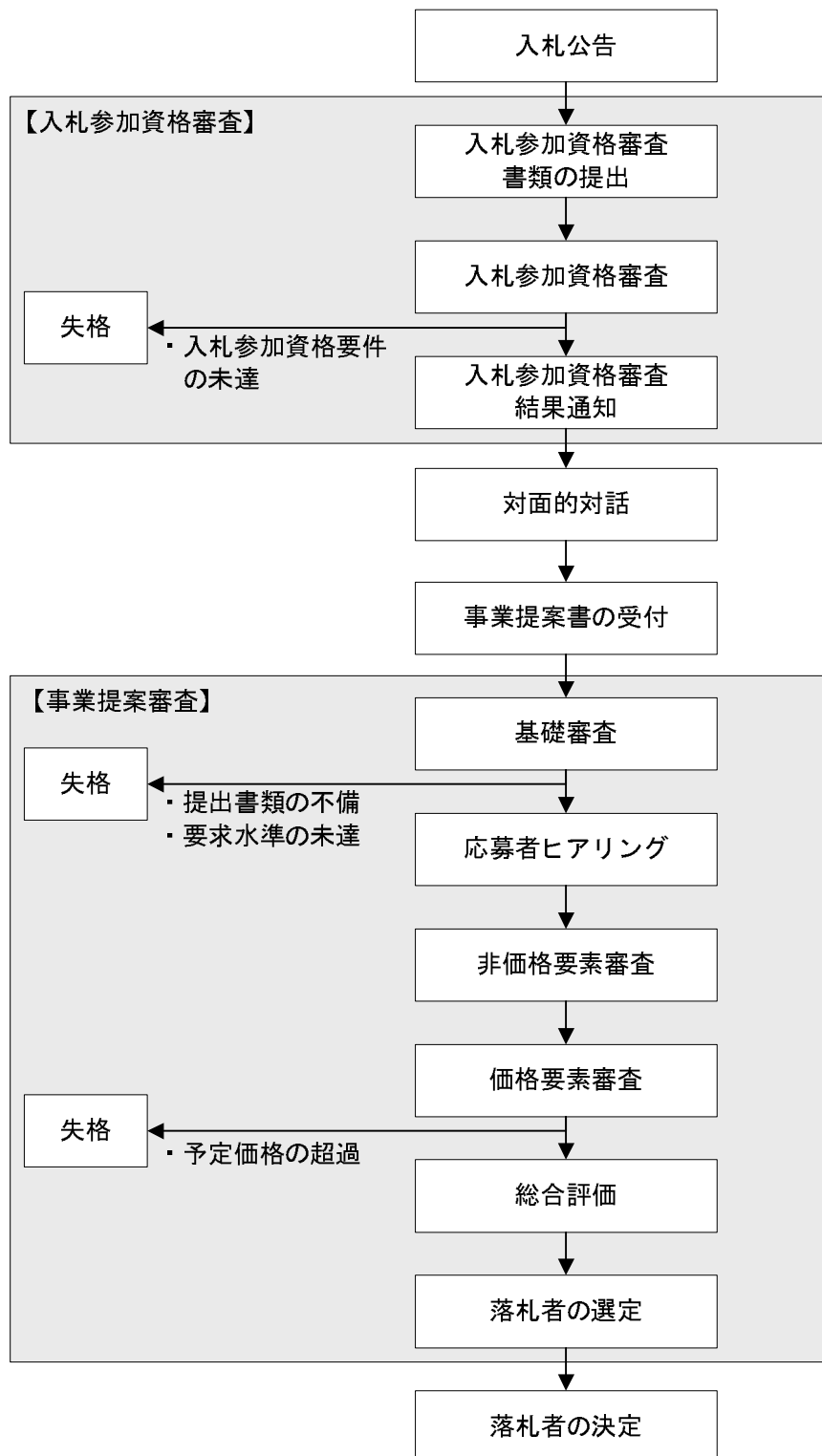


図1 落札者決定までの流れ

3．技術提案審査の方法

(1) 基礎審査

組合及び委員会では、応募者から提出を受けた事業提案書について、次に示す項目を審査する。なお、要求水準書に規定する性能要件を満足していない場合は、その応募者は失格とする。

提出書類の整合確認

- 1) 必要な書類がそろっているか。
- 2) 書類間の整合が図られているか。

事業提案書と要求水準との整合確認

- 1) 提案内容が要求水準を満たしているか。ただし、入札説明書等や質問回答書の内容も考慮したうえで判断する。

(2) 非価格要素審査

評価項目及び配点

非価格要素審査の合計点は、60点とする。

委員会では、事業提案書における提案内容を表1から表3に示す評価基準で評価し、点数化する。なお、審査に当たり、提案内容について応募者にプレゼンテーションを求めるとともに、ヒアリングを実施する。

表1 評価項目・基準及び配点(1/3)

評価項目	対象施設		評価基準	配点		
	本件施設	関連施設				
1. 設計・建設事業						
(1) 施工実績			<ul style="list-style-type: none"> ・1炉当たり65t/日以上かつ構成が2系列以上でボイラ・タービン式発電設備を有する施設の竣工実績数(当組合が選定する4方式(一般廃棄物に限る)のうち平成12年4月1日以降に新設で受注し竣工済みの施設に限る) 竣工実績数 11件以上 :A 竣工実績数 8~10件 :B 竣工実績数 5~7件 :C 竣工実績数 2~4件 :D 竣工実績数 1件 :E 	2	2	2
(2) 施工計画			<ul style="list-style-type: none"> ・昨今の建設業法の改正や安全対策等の見直し、感染症の影響などを踏まえた上で、試運転期間の確保も含め、工事工期を遵守するための方策について、突発的な事案にも対応できるよう、具体的に提案しているか。 ・下請け企業とも連携した適切な施工計画を具体的に提案しているか。 	2	2	2
(3) 配置計画	全体配置計画		<ul style="list-style-type: none"> ・全体配置に対する考え方について、具体的に提案しているか。 ・本件施設への搬出入車両と関連施設への利用者の車両との安全対策や、車両が集中した際への対策について、具体的に提案しているか。 ・隣接する関連施設は、地域住民が利用するため、安全性と利便性のバランスがとれた配置及び動線計画について、具体的に提案しているか。 ・緊急時における本件施設と関連施設の相互利用や、災害廃棄物を搬入する場合の車両の受付及び動線について、具体的に提案しているか。 	3	3	5
	機器配置計画		<ul style="list-style-type: none"> ・機器更新や機器搬入・搬出が容易な配置、適切なメンテナンス空間の確保、メンテナンスし易い動線計画について、具体的に提案しているか。 	2	2	
(4) プラント計画	安定稼働	1) 信頼性・耐久性	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマンエラー等を防止するための自動化機能などの安全対策について、具体的に提案しているか。 ・AI・IoT・ICT等を活用した安定的及び効率的な稼働について、実効性及び妥当性のある提案をしているか。 ・耐久性に優れ、補修に係る負担が少ない設備や資材の採用について、設備や資材の汎用性も含め具体的に提案しているか。 	3		5
		2) ごみ量・ごみ質への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢の変化や搬入量が多い時期におけるごみ量・ごみ質変動への対応について、設計や設備等において具体的に提案しているか。 	2		
	エネルギーの有効活用	1) 有効活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・電気、蒸気、温水のそれぞれの余剰エネルギーを積極的かつ効率的に有効活用することについて、具体的に提案しているか。 ・ごみ量・ごみ質の変動により発熱量が低下した場合において、有効活用できる工夫について、具体的に提案しているか。 ・蓄電池の設置など、災害時を見据えた余剰エネルギーに対応する設備等の有効活用方法及び活用可能な量について、具体的に提案しているか。 	3		6
		2) 売電量	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物発電に係る年間売電量(逆送電電力の範囲内とする) 配点×当該年間売電量/最も多い年間売電量(小数第1位を四捨五入) 	3		
(5) 環境計画	公害防止対策		<ul style="list-style-type: none"> ・騒音・振動・悪臭等を含めた公害防止基準値及び自主基準値の遵守について、排ガス処理への設計での考え方や、環境管理方法、基準値超過時の対応策などについて、具体的に提案しているか。 ・工事中における騒音・振動・悪臭・粉じん・濁水等への対策について、具体的に提案しているか。 ・地域住民に対し、騒音・振動・悪臭・粉じん・濁水等を含めた公害防止の対策や工事車両等について、情報発信や説明手法等を、具体的に提案しているか。 	3	3	8
	地球温暖化対策	1) 外部エネルギー使用の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の運転に当たり、買電や燃料使用等の削減、省エネ機器や自然光の積極的な採用による設計での工夫、効率的な運転計画などについて、具体的に提案しているか。 ・機器など導入について、実効性及び妥当性のある提案をしているか。 	1		
		2) 二酸化炭素の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の運転に伴い発生する二酸化炭素の排出量を抑制する方法について、具体的に提案しているか。 配点×最も少ない提案者の年間二酸化炭素排出量(t/年)/提案者の年間二酸化炭素排出量(t/年)(小数第1位を四捨五入) 	2	3	
	景観		<ul style="list-style-type: none"> ・羽島市の景観計画に基づく周辺環境と調和した施設について、圧迫感のない外観デザイン(形状、色彩等)であるほか、複合施設全体を統一したデザインにするなど、具体的に提案しているか。 ・地域のシンボルとなり親しまれる外観デザインを提案しているか。 ・過度な設備や維持管理を要しない外観デザインを提案しているか。 	2	2	
小計				28		

表2 評価項目・基準及び配点(2/3)

評価項目	対象施設		評価基準	配点		
	本件施設	関連施設				
2. 運営・維持管理事業						
(1) 施設の長寿命化	施設の長期使用		・複合施設を30年以上(運営事業者による運営20年の後10年以上)使用することができるよう長寿命化に対応し、安定処理を長期間継続できる施設について、具体的に提案しているか。	2	2	5
	維持補修費用の縮減		・維持補修費縮減のための運転計画や、点検・補修・更新などの適切な維持管理計画による、ライフサイクルコストの低減について、運営計画など具体的に提案しているか。	3	3	
(2) 運営体制	運転管理体制	1) 適切な体制	・各担当における役割分担や班体制等を明確化した適切な運転管理体制について、具体的に提案しているか。 ・専門資格を保有した専門技術者を継続的に配置するとともに、優れた人材育成方法について、具体的に提案しているか。	2	7	10
		2) 事故等への対応	・爆発や火災などの事故発生時における対応について、具体的に提案しているか。 ・事故を未然に防止する仕組みについて、具体的に提案しているか。	2		
		3) 運営終了時の引継ぎ方法	・運営業務終了後の適切な引継ぎ方法について、具体的に提案しているか。	3		
	搬入管理体制		・計量棟やプラットフォームにおける、搬入車両への負担が少ない搬入管理体制や安全対応について、具体的に提案しているか。 ・直接持込車両からの搬入禁止物等への対応について、持ち込み防止のチェック体制も含め具体的に提案しているか。	3	3	
(3) 運営計画	資源化等の計画	1) リスク管理	・適切に資源化等を実施するための協力企業等の体制やリスク管理について、具体的に提案しているか。(焼却方式では残さの資源化・処分、ガス化溶融方式ではスラグ等の有効利用など)	3	6	8
		2) 残さの品質確保	・発生する残さの溶出・含有等の基準について、品質確保や基準値遵守のための考え方や対応方法などについて、具体的に提案しているか。 ・不測の事態等により、品質や基準を満足できない場合の対応について、具体的に提案しているか。	1		
		3) 資源化率	・発生する残さをより多く資源化することについて、具体的に提案しているか。 配点×(当該資源化率-20%) / (100%-20%)(小数第3位を四捨五入) ストーカ式焼却炉に限り発生残さ総量から羽島市一般廃棄物最終処分場への埋立処分量を除く。	2		
	関連施設の活用		・各エリアの機能や衛生管理等について、利便性の高い運営計画を具体的に提案しているか。 ・関連施設の予約において、利用者の利便性に優れた提案となっているか。 ・関連施設で開催するイベントについて、地域コミュニティの場や施設への理解を深める場となるよう継続的な活用方法を具体的に提案しているか。	2	2	
小計				23		

表3 評価項目・基準及び配点(3/3)

評価項目	対象施設		評価基準	配点		
	本件施設	関連施設				
3. 全体事業						
(1) 事業計画	リスク管理		・20年間の経営計画・事業収支計画を踏まえ、運営事業者の長期収支の安定化への方策や特別目的会社への出資率・額のバランスなど具体的に提案しているか。 ・不測の事態が生じた際に対応する準備体制として、セルフモニタリングなどによるチェック体制や資金調達等の対応について、具体的に提案しているか。 ・設計、建設、運営の各業務において、業務停止を防止するバックアップ体制等について具体的に提案しているか。	3	3	4
	情報発信		・本件施設の運転情報や関連施設でのイベント情報など、地域への情報発信について具体的に提案しているか。 ・情報発信の方法として、インターネットの活用など具体的に提案しているか。	1	1	
(2) 付帯計画	環境学習		・ごみ処理の仕組みなど、子どもたちに分かりやすいテーマに沿って具体的に提案しているか。 ・展示方法について、パネルや映像だけでなく、体験型・思考型とするなど、飽きさせない仕組みを具体的に提案しているか。 ・高齢者や障がい者、地域貢献施設の利用者など、年齢層や利用目的に応じた見学内容や見学のしやすさ、また、見学ルートや見学を促す仕組みなどについても、具体的に提案しているか。 ・過大な設備を避け、継続性や更新性に優れ、陳腐化防止の展示物等の内容について具体的に提案しているか。	3	3	9
	災害対策	1) 浸水対策	・浸水深が想定最大規模となる場合の浸水対策について具体的に提案しているか。 ・浸水想定に合わせた浸水対策について、具体的に提案しているか。 ・浸水対策の設備は、浸水想定に合わせた実効性及び妥当性のある提案であるか。	2	6	
		2) 安全性・早期復旧策	・災害によるライフライン遮断などにおける安全性、早期復旧策やサポート体制について、具体的に提案しているか。 ・様々な災害等に対する事業継続計画を具体的に提案しているか。	2		
		3) 発災時の対応	・発災時(地震、火災、停電等)の対応を想定した、緊急避難場所としての機能や活用しやすい部屋の配置と動線、防災備蓄倉庫、会議室及び浴室等の貸出しについて、具体的に提案しているか。 ・発生時において、利用者に対する安全確保の計画について、羽島市や組合との協力体制を含め具体的に提案しているか。 ・発災時における感染症対策やプライバシーへの配慮について、具体的に提案しているか。	2		
(3) 地域貢献	地元企業の活用		・設計・建設業務及び運営・維持管理業務において、構成員又は協力企業となる企業について、地元企業等の活用に配慮した提案となっているか。 関係市町に本店を置く企業を、2社以上構成員又は協力企業に含める。：A 関係市町に本店を置く企業を、1社構成員又は協力企業に含める。：C 関係市町に本店を置く企業は全て下請企業である。：E	1	1	7
	地域経済の活性化	1) 建設工事関係	・設計・建設業務(資材調達を含む)について、地元企業(関係市町に本店を置く企業)へ配慮した提案となっているか。 配点×当該下請け率/最も高い下請け率 (小数第3位を四捨五入)	3	5	
		2) 運営管理業務関係	・運営・維持管理業務(資材・用役調達を含む)について、地元企業(関係市町に本店を置く企業)へ配慮した提案となっているか。なお、地元人材の活用に係るものを除く。 配点×当該下請け率/最も高い下請け率 (小数第3位を四捨五入)	2		
	地域振興		・運営時に係る積極的な地元雇用への配慮について具体的に提案しているか。なお、上記の「2) 運営管理業務関係」に含まれる下請け企業の従業員を除く。 ・建設工事期間に係る弁当の手配や宿泊施設の利用など、地元企業の活用計画について具体的に提案しているか。	1	1	
小計				20		
合計				71		

評価基準及び得点化方法

審査項目における評価基準及び得点化方法は、表4に示すとおりである。

表4 評価基準及び得点化方法

評価	評価内容	点数化方法
A	特に優れており、提案内容に非常に大きな期待ができる。	配点×1.00
B	優れており、提案内容に大きな期待ができる。	配点×0.75
C	提案内容に一定の期待ができる。	配点×0.50
D	提案内容に期待できるものが少ない。	配点×0.25
E	要求水準を満たす程度である。	配点×0.00

非価格点の算出方法

非価格点は、次の方法で算出する。

非価格点 = 60点 × (当該事業者における評価の合計点 / 評価項目の合計点)

注) 点数は、配点が示される評価項目ごとに小数点第3位を四捨五入し、
小数点2位まで算出するものとする。

: 表1から表3での配点の合計点(71点)

(3) 価格要素審査

価格点は、40点満点とし、次の方法で算出する。

価格点 = 40点 × (最低入札価格 / 入札価格)

- ・入札価格: 応募者から提出された入札価格のうち入札書比較価格に相当する価格(設計・建設業務費及び運営・維持管理業務委託費の合計)
 - ・最低入札価格: 応募者による最低の入札価格
- 注) 1. 点数は、小数点第3位を四捨五入し、小数点2位まで算出するものとする。
注) 2. 予定価格を上回った応募者は、失格とする。
注) 3. 落札候補者の入札価格が、低入札価格調査における調査基準価格未満であった場合は、低入札価格調査を実施し、事業の履行が不可能と判断された場合は失格とする。

(4) 総合評価

総合評価点は、非価格点及び価格点の合計で算出し、総合評価点の最も高い応募者を落札者に選定する。

総合評価点の最も高い応募者が複数ある場合は、価格点の高い応募者を選定する。なお、この場合において、価格点の点数は、小数点第4位を四捨五入し、小数点3位まで算出するものとする。それでも複数ある場合は、当該者にくじを引かせて落札者を選定するものとする。

$$\text{総合評価点} = \text{非価格点} + \text{価格点}$$